

町では、令和4年度から13年度までのまちづくりの指針となる「第6次総合計画」の策定に取り組んでいます。計画の策定にあたり、町民の皆さんを対象に次のとおりアンケート調査を実施しましたので、内容を抜粋してお知らせします。

町民アンケートの概要

調査目的	現在の甘楽町に対する皆さんの思いや考え、行政サービスに対する評価、将来の町への要望などを把握し、新しい総合計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。	
調査対象	日本人 (13～18歳) 185人	※無作為抽出
	日本人 (19歳以上) 1,115人	
	外国人 (13歳以上) 176人	※対象者全員
調査期間	令和3年2月10日～2月26日	
調査方法	郵送による配布。回収は郵送、持参またはオンライン回答	
回収結果	日本人 (13～18歳) 96人 (回収率51.89%)	
	日本人 (19歳以上) 605人 (回収率54.26%)	
	外国人 (13歳以上) 53人 (回収率30.11%)	

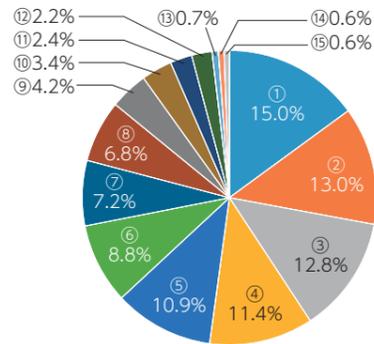
調査結果 「まちづくりの方向性」

問) 今後どういう方向のまちをめざすべきだと考えますか？

- **まちづくりの方向性として、「安全安心」「商店などの充実」などが多く望まれています**
- ・ 国籍や年代に関わらず、災害対策、交通安全・防犯対策など「安全安心に暮らせるまち」や、暮らしに必要な店舗などの「施設が充実したまち」を望む回答が多数。子育て支援や高齢者支援の充実、安定した雇用にも高い関心が寄せられています。
- ・ 全世代で公共交通サービス施策は重要ととらえられており、特に中学・高校生世代で「公共交通が充実したまち」が多く望まれる結果となりました。

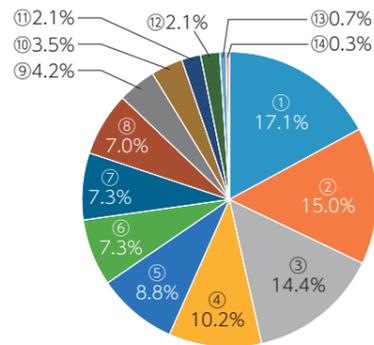
▼日本人(19歳以上)

①事故や犯罪が少なく、災害に強い安全で安心なまち	15.0%
②暮らしに必要なお店があるまち	13.0%
③結婚・出産・子育てまでの支援が充実しているまち	12.8%
④安心して医療が受けられるまち	11.4%
⑤高齢者や障がい者にやさしいまち	10.9%
⑥安定した雇用があるまち	8.8%
⑦自然環境を大切にす緑豊かなまち	7.2%
⑧公共交通サービスが充実し、出かけやすいまち	6.8%
⑨歴史や伝統文化を生かしたまち	4.2%
⑩近隣都市のベッドタウンとして、住環境が整備されたまち	3.4%
⑪観光客が訪れ、にぎわいのあるまち	2.4%
⑫住民活動が活発で元気なまち	2.2%
⑬未回答	0.7%
⑭外国人と共生し、国際文化豊かなまち	0.6%
⑮その他	0.6%



▼日本人(13～18歳)

①暮らしに必要なお店があるまち	17.1%
②安全で安心に暮らせるまち	15.0%
③電車やバスなどが充実し、出かけやすいまち	14.4%
④子どもが元気に暮らせるまち	10.2%
⑤山や川、緑などの自然が豊かなまち	8.8%
⑥働く場所がたくさんあるまち	7.3%
⑦お年寄りや障がいのある人も住みやすいまち	7.3%
⑧安心して医療が受けられるまち	7.0%
⑨観光客が訪れ、にぎわいのあるまち	4.2%
⑩歴史・文化・芸術を大切にするまち	3.5%
⑪町民同士の交流やボランティア活動などが活発なまち	2.1%
⑫外国との交流が盛んな、国際的なまち	2.1%
⑬その他	0.7%
⑭未回答	0.3%



まちづくりに関する提案を募集しました

～住民の皆さん、かんらふるさと大使の皆さんからご意見をいただきました～

2月のアンケート実施後、まちづくりに関するアイデアや事業に対する具体的な要望などを伺うため、自由記載による意見・提案を募集しました。

道路や公園の整備、公共交通サービスの拡充、観光事業などについて、また、町と交流のある東京都北区からの交流人口の呼び込み施策や町の人口維持と増加形成に向けた方策の検討、町の自然を活用した事業など、29件のご要望・ご提案をお寄せいただきました。

皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の総合計画策定の検討資料とさせていただきます。対応が可能なものから順次改善などを検討していきます。ご協力ありがとうございました。

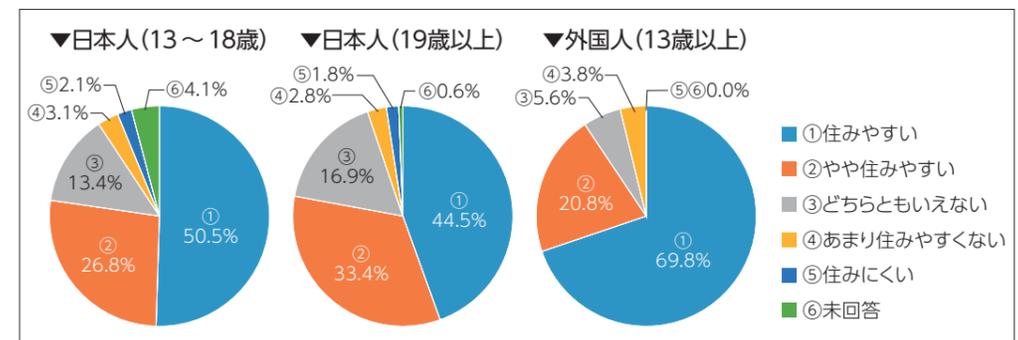


調査結果 「町の住みやすさ」と「定住意向」

問) 甘楽町は住みやすいですか？

● **全体の7割以上が「住みやすい」「やや住みやすい」と回答**

- ・ 13～18歳では50.5%、19歳以上では44.5%、外国人では69.8%の人が「住みやすい」と回答。
- ・ 「住みやすい」「やや住みやすい」と回答した人を合わせると、全てのアンケートで70%を超えましたが、国籍や世代に関わらず、全体の約4分の1の人が「あまり住みやすい」「住みにくい」と回答。



問) 今後も町に住み続けたいですか？ (定住意向)

● **全体の半数以上の人住み続けたいと回答があったものの、公共交通や住宅・商店などの充実化が課題**

- ・ 全体の半数以上の人「住み続けたい」と回答。住み続けたい理由は「自然が豊かなところ」「親しい人がいるところ」「静かな環境で住みやすい」「犯罪や災害が少ない」が多数。
- ・ 全体の約1割の人が「住みたくない」と回答。新たに住みたいと思う場所は「交通が便利なおところ」「住宅・商店などが充実しているところ」「通勤・通学が便利なおところ」が多数。